



一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会 ニュース

2016年5月 No.179

Contents

【TOPIC】作品コーナー.....	1	財務部からのお願い.....	10
第16回神奈川県作業療法学会のご案内.....	1	研修会案内.....	10
【TOPIC】第2回神奈川県臨床作業療法大会からのお知らせ.....	2	求人案内.....	11
理事会報告.....	4	【TOPIC】第2回神奈川県臨床作業療法大会プログラムのご案内.....	12
連載 生活行為向上マネジメント.....	6	ニュース掲載作品大募集!!.....	12
各部からの報告.....	7	編集後記.....	12
お詫び.....	9		



作品名 **どんぐりころころ布のパネルシアター**

製作者 **平澤 恵 様** (55歳・脳梗塞左片麻痺)

【作品について】「麻痺になり当時の医者に『絶対縫い物は出来無い』と言われものすごくショックを受けました。しかし、その言葉にめげずに現在もリハビリに通い機能は向上しミシンを使えるまで（助けてもらっていますが）になっています。また家事や社会復帰（保育士）も再獲得中です。担当児童（障害をお持ちのお子様）に麻痺があってもチャレンジする事を見せてあげたいです。子供たちのキラキラした瞳の前で歌いながら見せてあげたとボランティアさんに少し助けていただきながら完成を目指しました。ひと針縫うごとに涙が出そうになりました。」

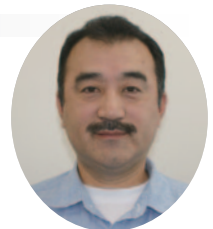
●担当作業療法士：桜井 大和 氏（医療法人 佐藤病院）

作品募集中！詳細は12ページへ



第16回神奈川県作業療法学会のご案内

第16回神奈川県作業療法学会 学会長 玉垣 努



第16回神奈川県作業療法学会が2017年7月2日（日）、神奈川県立保健福祉大学（横須賀市）で開催される運びとなりました。

1965年に理学療法士及び作業療法士法として整備されて約50年が経過し、その時代各々で、「作業療法のアイデンティティ」や「作業療法の核」が問われてきました。近年の作業療法を概観すると、大きく二つの流れがあります。一つは理念や理論の充実、二つ目は身体機能改善に向けた具体的なアプローチ法の充実です。共通する課題は、作業療法の有効性や特徴を、他のリハビリテーション職種と協働し、如何に提示できるかです。将来の目標を医療領域や福祉領域で「価値ある作業療法の提供」とするならば、作業療法士だけの自己満足だけではなく、リハビリテーション関係の他職種に加えて、一般市民や厚生労働省に認められることが今後の重要な課題です。

そこで、今回の学会のテーマを「選択する未来」として、既に県下の作業療法士の皆様に協力を頂いて、着々と準備を進めている状況です。

平成28年4月の保険点数の改定や作業療法士協会主導の「生活行為向上マネジメント」の推進など、一人の作業療法士として覚悟を決めて実行しなければならない時期となってきました。

ています。

熟練者も新人もこだわりなく、同じテーブルに着き語り合い検討して欲しいと思っています。日頃より実践している臨床の成果や悩み、研究成果などを、地元の忌憚のない交流の場としては是非発表していただきたいと思います。そこからもっと発展できる発想や人間関係や連携なども期待しております。特に若い県士会員の皆さんは、身近な挑戦場面として是非発表をしてください。発信することの難しさと楽しさを味わうことができるでしょう。発表することで、何気なく臨床で実践していることに、改めて理解が深まることが多いのです。

本学会が、近年のリハビリテーションを取り巻く厳しい環境の中で、より価値のある作業療法を選択するための一助になれば良いかと考えています。

学会開催地が三浦半島の豊かな自然環境と基地を配する横須賀の地です。過疎という問題もあり、地域住民の方にも参加いただけるよう「地域における生活支援」というテーマで、一般公開講座を行う予定です。より一層の作業療法のご理解に繋がれば良いと願っています。



第2回 神奈川県臨床作業療法大会 からのお知らせ

第2回神奈川県臨床作業療法大会は『作業療法士のしてん～視点・支点・始点～』をテーマにそれぞれのライフステージに関わる作業療法士や他職種など様々な角度からの“してん”について講演いただく予定となっております。口述発表や一般公開講座も企画しています。皆様、ぜひご参加ください！！

日 時 平成 28 年 8 月 7 日 (日) 9:30～17:30
会 場 藤沢市民会館 神奈川県藤沢市鵠沼東 8-1



〈プログラム〉

特別演題 『脳画像の診方のポイント』 国際医療福祉大学 医師 前田 眞治 先生

教育講演 『認知行動療法の理論と実際』 神奈川県立保健福祉大学 奥原 孝幸 先生
『活動・参加を見据えた作業療法アプローチについて』 静岡県立静岡がんセンター 田尻 寿子 先生

他職種連携企画

テーマ「高次脳機能障害の症例を通して先輩たちからの提言」

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 早川 裕子 先生
鵜飼リハビリテーション病院 言語聴覚士 森田 秋子 先生

リレー発表 ※準備中

一般公開講座 『認知症と付き合っていくこと』 (仮)

※認知症サポーター養成講座企画予定。

※企画予定の変更も考えられます。ご了承ください。

参加費

神奈川県士会員 事前登録	2,000 円	(プログラム集を含む)
神奈川県士会員 当日参加	3,000 円	(プログラム集を含む)
非会員 (他県士会員、他介護・医療職種)	4,000 円	(プログラム集を含む)
学生	無料	(学生証提示・プログラム集無し)
一般公開講座のみ (一般市民)	無料	

※当日は日本作業療法士協会会員証をお持ちください。 ※生涯教育ポイント：2ポイント

※プログラム集は当日配布いたします

〈問い合わせ先〉

クローバーホスピタル リハビリテーションセンター 神奈川県藤沢市鵠沼石上 3-3-6
TEL: 0466-22-7172 (リハセンター直通) E-mail: kccot2nd@kana-ot.jp

※問い合わせはメールにてお願い致します。

事前参加登録について

事前登録期間は、平成 27 年 6 月 1 日～7 月 22 日です。

※ 1 件につき、1 名分ずつ送信してください。

申込方法

大会事務局 kccot2nd@kana-ot.jp

に下記記載事項をご記入の上、電子メールにて期限までにお申し込みください。

件名：「第 2 回神奈川県臨床作業療法大会事前登録」

本文：①**会員番号**（『日本作業療法士協会』に未入会の方は、神奈川県作業療法士会登録時の住所を記載してください）②**氏名**（フリガナ）③**所属** ④**連絡先電話番号とメールアドレス**（FAX 番号）

※お申し込み後 **2 週間以内**に下記口座までお振込下さい。（お振込みの際の「ご利用明細票」を保管しておいてください。）

※振り込みがなされなかった場合には、学会当日、当日参加費用をお支払いいただきます。

※お支払いいただいた参加費は、理由の如何に関わらず返金は致しかねます。あらかじめご承知おきください。

【銀行名】横浜銀行

【店名】相模原駅前支店 【店番】415 【預金種目】普通預金 【口座番号】6127996

【口座名義】第 2 回神奈川県臨床作業療法大会(ダイニカイカナガワケンリンシヨウサギヨウリヨウホウタイカイ)

例 1) 1234 横浜〇子 例 2) 横浜〇夫作〇療〇病院

※本人確認をするために振込者名には、OT 協会会員番号と氏名を入力してください。なお OT 協会未入会の方は申込時に記載された所属を氏名の後に入力してください。

大会キャラクター紹介

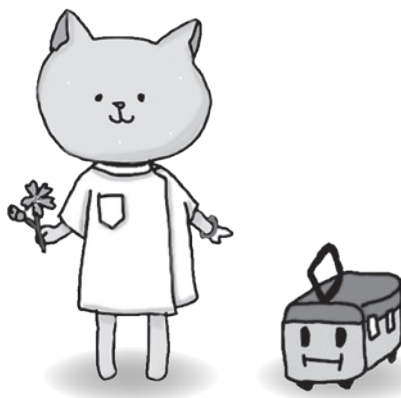
大会キャラクターの“しょうにゃん”と“でんでん”です。
この凸凹コンビが大会をかわいく彩ってくれています。どうぞお見知り置きを！

名前：しょうにゃん

種別：ねこ

特技：傾聴

イヌに間違えられることもあるねこ。本人もイヌっぽさを気にしている。臨床数年目の若手 OT ねこ。腕にオレンジリングを着けている。



名前：でんでん

種別：電車

特技：藤沢周辺の駅名の暗記

湘南地域に馴染みのある電車と似たカラーをしている。よく見ると少し配色が違う。

大会ホームページはこちら → <http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd/>



Facebook と LINE@ でも大会情報をお伝えしております！
ぜひ登録してね！！

ID 検索 @yss8727t

平成27年(2015年)度 第4回理事会議事録

日時 平成28年2月10日(水) 19:00～21:40

場所 神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、福留、佐藤、奥原、神保、吉本、野本、遠藤、野々垣、名古屋、作田、内山、木村、村越 計14名

欠席理事：澤口、鴻井、鈴木 出席監事：清宮 欠席監事：田中 その他：三森、金山・宮沢・山口(事務局：書記)

●報告・検討事項

1. 事務局(福留事務局長)

(1)報告事項

1)渉外

- ①賀詞交歓会 5団体の賀詞交歓会に出席
- ②医療専門職連合会第128回定例理事会 4月7日「栄養」のテーマで勉強会開催予定
- 2)代議員選挙について
A・Bブロック共に候補者満員となる。随時ホームページ等で報告予定。

(2)審議事項

- 1)2名の会員について再入会の審議を行い承認
- 2)名誉会員について 以下2名について審議行い承認
平成28年度社員総会で議案として提出予定
- 3)神奈川県立保健福祉大学 博士後期課程設置に伴う意見書に関して→博士後期課程の設置に関して承認

2. 財務部(佐藤理事)

(1)提案事項

- 1)研修会参加者数増加の為の告知方法の強化に関して提案があった。

3. 学術部(福留事務局長が代理で報告)

(1)報告事項

1)スキルアップ研修事業(講習会)

- ①『高次脳機能障害の基礎～半側空間無視・記憶障害編～』 参加者：73名
- ②『働きやすい職場作りと起業のコツ～プロに聞く、実践マネージメント～』 参加者：17名
- ③『家族と支える、家族を支える』 参加者：9名
- ④『徹底現場主義！実習指導を考える』 参加者：30名
- ⑤『まるわかり！1年目から脳卒中の基礎と作業療法のポイント』 参加者：45名

2)研究助成事業

- 林 慎也：『脳卒中患者における手指機能のテーピング効果』を承認した。

4. 教育学部(奥原理事)

(1)報告事項

1)研修開催報告

- ①現職者選択研修(精神障害領域) 参加者：44名(他県士会6名、部員4名)

5. 広報部(神保理事)

(1)報告事項

1)対外広報班報告

- 活動報告 1月16日 神奈川県介護支援専門員研究大会にブース出展参加

(2)審議事項

- 1)外部団体からのニュース封入チラシについての規定について
後援の団体を主に対象 封入費用：1枚4円→承認

6. 福利部(吉本理事)

(1)報告事項

- 1)新入会員増加推進 以下、内容について事務局と合同で検討
①卒業生へ向けての県士会の広報チラシを(県内の)養成校への配布
②新入会員向けの学術研修会+新入会員オリエンテーションの共同開催を予定

7. 地域リハビリテーション部(遠藤理事)

(1)報告事項

- 1)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告
①神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会
参加者：80名
②神奈川県訪問リハビリテーション学術集会
参加者：176名(OT:51名)

(2)審議事項 部員承認 4名→承認

8. ウェブサイト管理委員会(作田理事)

(1)報告事項

- 1)第16回神奈川県作業療法学会：IT支援開始

9. 公益法人化対策委員会(名古屋理事・野々垣理事)

(1)審議事項

- 1)公益法人化に向けての工程の見なおし
〈変更案〉2018年 秋頃 臨時総会及び理事選挙
2019年 4月 申請許可→承認

10. MTDLP推進委員会(木村理事)

(1)報告事項

1)研修会報告

- 『事例検討会』平成28年1月31日(日)
横浜YMCA学院専門学校 参加者10名

2)OT協会のグラウンドデザイン

- H28年終了時の基礎研修修了者⇒会員数の60%
現在(1/15時点)の基礎研修修了者数 255名

- 3)地域リハビリテーション活動支援事業(横浜市)について
横浜市の独自の事業「元気づくりステーション」へのOPSの派遣を以って介護予防に資する取り組みを実施するもの。来年度以降は全区で実施。平成29年には全市町村で展開していく予定。

平成27年(2015年)度 第5回理事会議事録

日時 平成28年3月10日(木) 19:00～20:00

場所 神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、福留、澤口、佐藤、奥原、神保、吉本、野本、遠藤、名古屋、作田、内山、木村、村越 計14名

欠席理事：鴻井、鈴木、野々垣 出席監事：清宮、田中 その他：金山・魚岸・白鳥（事務局：書記）

●報告・検討事項

1. 事務局（福留事務局長）

(1)報告事項

1)後援依頼

- ①住まいまちづくり協会 かながわ・よこはまケア連絡型バリアフリー改修シンポジウムの後援依頼→承認
- ②県保険医療協会より第25回在宅医療介護セミナー後援→承認

(2)審議事項

1)補正予算の件

事務局の人件費等増加のため、50万円の補正予算を提案→承認

2. 財務部（佐藤理事）

(1)報告事項

- 1)財務部資料作成について 現状把握のため財務資料作成を開始した

(2)審議事項

1)県士会サイト入会手続きの変更

入会手順を簡易的に掲載し、注意事項を図で示していく→承認

3. 学術部（福留理事代）

(1)審議事項

- 学術誌編集委員の承認についてについて
- 4名追加→承認

4. 教育部（奥原理事）

(1)報告事項

1)研修会終了報告

- ①現職者選択研修（身体障害領域）
平成28年2月11日(木) 会場：ウイリング横浜
参加者：54名（県士会員54名、他県士会員8名）
- ②現職者共通研修
平成28年2月21日(日) 会場：ウイリング横浜
参加者：事例報告36名、事例検討41名

5. 広報部（神保理事）

(1)報告事項

1)対外広報班の活動報告および予定

- ①活動報告：平成28年2月16日(金) 神奈川県栄養改善学会にブース出展参加
- ②活動予定：平成28年3月12日(土) リハビリテーションフォーラムブース出展参加

6. 福利部（吉本理事）

(1)報告事項

1)会員交流班

- ①職場見学会開催予定『～となりの職場見学 見て・聞いて・体験して～』『低周波刺激療法を併用した上肢・手指訓練の実際』日時：平成28年3月19日(土) 13:30～16:30

①新入会員向けの学術研修会＋新入会員オリエンテーションの共同開催

平成28年6月19日に新入会員向けの学術研修会、研修後の新入会員オリエンテーションを開催予定

②新規入会会員への入会済み案内チラシの作成発行

7. 地域リハ部（遠藤理事）

(1)報告事項

1)研修会報告

- ①ALS者のコミュニケーション支援講習会 日時：平成28年3月5日(土) 13:00～16:30
会場：横浜リハビリテーション専門学校 8階講堂
参加：24名

2)神奈川県リハビリテーション専門職等介護予防指導研修会 OT士会として協力し、遠藤理事が平成28年3月4日、7日、8日講師を行う予定。

3)横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について報告

8. 制度対策部（野本理事）

(1)報告事項

- 1. 研修会予定 社会制度対策班研修「医療介護制度外で活躍する作業療法士」自立生活アシスタント事業への関わり 平成28年3月26日(土) 14:00～16:00 会場：茅ヶ崎市勤労市民会館 6階 A研修室

10. 学会評議委員会（内山理事）

(1)報告事項

- 1)第16回神奈川県作業療法学会の会計説明会 日時：平成28年2月3日(水) 19:00 会場：神奈川県立保健福祉大学にて開催

11. MTDLP推進委員会（木村理事）

(1)報告事項

- 1)研修会開催予定 ①基礎研修 平成28年3月19日(土) 場所：横浜リハビリテーション専門学校 定員：100名

2)研修会報告

- ①事例発表 平成28年3月6日(日) 会場：横浜YMC A学院専門学校 参加人数：14名
- ②基礎研修 日にち：平成28年2月7日(日) 会場：横浜リハビリテーション専門学校参加人数：38名

- 3)2/7時点の神奈川県士会の基礎研修修了者数 288名 16.2%（会員数 1,776名）



生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介 part3

生活行為向上マネジメント (Management Tool for Daily Life Performance: MTDLP) は作業療法士の臨床思考過程を見える化したツールです。前回に引き続きMTDLPの流れとツールの紹介をいたします。

メインシート

- ①生活行為聞き取りシート
- ②生活行為アセスメント演習シート
- ③生活行為向上プラン演習シート

サブシート

- ④興味関心チェックシート
- ⑤生活行為課題分析シート
- ⑥生活行為申し送り表

今回は生活行為向上プラン演習シートについて紹介します。

達成可能な目標 (合意目標) を設定した後は、生活行為向上プラン演習シートを使用します。達成可能な目標

(合意目標) の生活行為工程分析 (目標を達成するために必要な能力を挙げる) を行い、現在の対象者の能力で「できること」「できないこと」に分類します。当然「できること」をより強化していくプログラムもありますが、まずは「できないこと」についてプログラムを立案していきます。

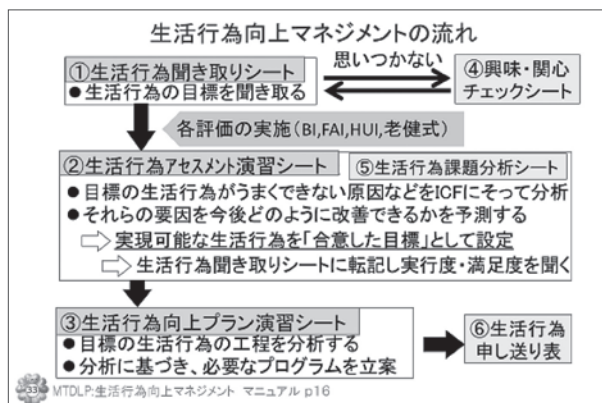
介入プログラムは主に基本的プログラム (心身機能に対するアプローチ)、応用的プログラム (活動と参加に関する模擬的アプローチ)、社会適応プログラム (実際の環境における適応プログラム) があり、いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施するのかを明確に記載します。ここでは機能訓練に偏重せずにバランスのとれたプログラムを立案することが重要となってきます。

本ツールを使用する事で、支援計画を立案する段階で関連職種の役割や支援内容をより明確に把握する事ができます。また我々作業療法士の思考過程を表現しているため、ご本人や関連職種との情報共有ツールとしても活用できます。

(文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 木村)

④次号

生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介 part4



図① 生活行為向上マネジメントの流れ

図② 生活行為向上プラン演習シート

各部からの報告

地域リハビリテーション部

「ALS 者のコミュニケーション支援講習会」

平成 28 年 3 月 5 日に ALS 者のコミュニケーション支援講習会が開催されました。参加者は、病院から訪問看護ステーションまで様々な現場に携わる OT をはじめ、県を超えて参加された OT、ST を含む 24 名の参加でした。講師には、OT として幅広く活躍される木村修介氏、一木愛子氏の御二人を迎え、更に、ダブル技研株式会社和田始竜氏の協力を頂き講習会を行われました。OT の御二人より、これまでの経験を踏まえた“難病患者に対するコミュニケーション支援の実際”、“支援者に必要なこと”を中心に話がありました。参加者は、「数少ない難病患者の支援の実体験をはじめ、各種機器や機器導入の手続き、評価について、多くの知識や情報を得ることができ、研修を受けて良かった。」と口を揃えて話していました。今回の講習では、ダブル技研株式会社より意思伝達装置やスイッチ各種を持参していただき、参加者がトーキングエイドや伝の心など、実際に各種機器を体験する時間を多く設けたことが特徴となっていました。コミュニケーション支援を助めていく上で、支援者側が正確な知識を持ち、スキルアップしていくことを目指し、今後とも講習を継続していきたいと考えています。



「神奈川県リハビリテーション専門職等介護予防指導研修会」

神奈川県主催の神奈川県リハビリテーション専門職等研修会が平成 28 年 2 月～3 月にかけて横浜会場、海老名会場、平塚会場 3 か所ですべて 2 日間ずつ開催されました。

今回、OT 士会として講師派遣など協力をさせていただいています。昨今「地域リハビリテーション活動支援事業」が

市町村の介護予防事業に位置付けられ、リハビリ職の関与を促進されています。地域ケア会議や通所・訪問などにおいて、必要な知識について学ぶ研修会として行われています。来年度も開催される予定をしていると聞いています。ご興味がありましたら参加をしてみてくださいと思います。

〈地域ケア会議に出席された会員の方へ〉

地域包括ケアシステム構築に向けて各市町村の動きが 徐々に始まっております。その一つに地域ケア会議がありますが、既に地域ケア会議に出席経験のある会員がいらっしゃいましたら、地域リハビリテーション部 (chiikireha@kana-ot.jp) にご連絡をいただけますと幸甚に存じます。これは情報収集を目的としたもので、今後の県士会活動に反映したいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

(文責：地域リハビリテーション部 遠藤)

ウェブサイト管理委員会

県士会サイト・更新情報の確認方法 好きな方法をご利用ください！

更新情報を確認する方法	電子メール (メールマガジン)	Twitter	Facebook	RSS
	 http://kana-ot.jp/update/from_kana	 https://twitter.com/kaotwebkan	 https://www.facebook.com/kaotwebkan	 http://kana-ot.jp/update/feed
県士会サイトの更新	○	○	○	○
県士会ブログの更新	×	○	○	△ (ブログ毎で設定)
リハネットニュース	×	○	○	×

(文責：ウェブサイト管理委員会)

広報部・対外広報班

「がんと共に生きる」栄養改善学会ブース出展 平成 28 年 2 月 16 日

第 39 回神奈川県栄養改善学会に医療連合会のブース出展として参加しました。「がんと共に生きる」がテーマの学会となっており、参加された栄養士の方々や一般の方々に対して、パンフレットを配布しながら作業療法の紹介をさせていただきました。参加された方から『スプーンの自助具選定のポイント』や『自助具の開発、購入』、『PT と OT の違い』等、様々な質問があり、作業療法の視点から情報をお伝えしながらも他職種間で有意義な情報交換になったのではないかと思います。

学会終盤には市民公開講座にてタレントの山田邦子さんの講演に参加させていただきました。乳がんによるご自身の体験談を興味深く、また楽しく聞くことができ、勉強させていただく貴重な機会となりました。

今回は広報活動を行うだけでなく、見聞を広めることができました。今後も様々な体験を通して作業療法を知らない方とも触れ合い、広報活動に努めていきます。（文責：増田）



第 43 回相模原市民桜まつり 平成 28 年 4 月 2～3 日

2 日間、第 43 回相模原市民桜まつりに県士会広報ブースを出展しました。不安定な寒空の天候でしたが、主役の桜は満開で気持ち晴れやかに広報活動を行ってきました。

活動内容は県士会パンフレットの配布とリハビリ相談、自助具の紹介・作製体験を実施しました。自助具作製に関しては毎年恒例の“ボタンエイド”に加えて今年は“ソックスエイド”にも挑戦し、2 日間合計で 108 名の方に体験していただきました。例年に比べて市民の方々の自助具に対する関心が高く、「おばあちゃんにプレゼントする!」という小学生から、「これは便利。さっそく今日から使うわ。」という高齢者まで、様々な世代の方と作製体験を通じて交流を深めることができました。

また、「あなたたち（作業療法士）とはどこで会えるの?」と聞かれることも多くありました。地域包括ケアシステムの構築が課題と言われている今日、人を元気に、生活をよりよくする作業療法が地域住民にとってもっと身近でアクセスし

やすい存在になる必要があることを改めて感じた 2 日間でした。

これからも県内広いエリアで作業療法に関する広報を行うとともに、地域住民が私たちに求めるメッセージを受け止めながら活動を展開していきたいと思います。（文責：佐藤）



教育部

県士会ウェブサイトから
質問ができます!

連載「お届け! 生涯教育制度、あれもこれも」

今年度最初の「お届け! 生涯教育制度、あれもこれも」です。今春作業療法士国家試験に合格、就職された方、おめでとうございます。迎えた側の方も業務拡大や充実に向けて新たに動き始めたところではないかと思います。

さて、このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部は OT 協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。教育部の情報、特に生涯教育制度関連の研修会開催情報はこの県士会ニュースと県士会ウェブサイトを通じて発信されますので、しっかりアンテナを張っておいてください。

今号では、今年度開催予定の生涯教育制度関連の研修会をご案内いたします。

1. 現職者共通研修：生涯教育制度の必須基礎研修、毎年全 10 テーマ開催

2. 現職者選択研修：必須の MTDL P と領域別選択（身体・老年期・精神・発達の各障害領域）の生涯教育制度の必須基礎研修で、毎年 2 領域開催（今年度の開催領域は検討中です）

* 神奈川県士会では、一年間で 2 つの必須基礎研修が修了できるよう企画、開催しています。

* 7 月号以降の県士会ニュース、県士会ウェブサイトにて開催情報を順次ご案内します。

3. 事例報告登録制度研修会：事例報告登録は、認定作業療法士申請に必須です。神奈川県士会独自開催の研修会です。その他、研修会等参加証明書、県士会の役員や部員・委員などの県士会裁量ポイント、「作業療法」掲載論文・事例報告登録制度への登録事例等のポイント化手続きは県士会にて随時受付中です。なお、基礎研修修了、認定作業療法士、専門作業療法士の申請は OT 協会です。ご不明の点はこちらへご連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
045-828-2738（直）、koyoiku@kana-ot.jp

福 利 部

職場見学会報告（身体障害領域）

3月19日（土）に『低周波刺激療法を併用した上肢・手指訓練の実際』をテーマに、イムス横浜狩場脳神経外科病院にて職場見学会を実施させて頂きました。当日は10名の方に参加して頂き、最初に伊藤超短波株式会社荒井先生より電気刺激療法の仕組みについて講義して頂きました。物理療法領域は学校教育や卒業教育でも学ぶ機会が少ない領域でもあり非常に勉強になりました。その後、機器の体験をさせて頂き、参加者からはその効果に驚きの声と共に多くの質問も飛び交いました。続いて、福留先生より実際の患者様に対して低周波刺激療法を併用した訓練場面を見学させて頂き、体験もさせて頂きました。訓練を見学し体験させて頂くという貴重な時間の中で、多くの質疑応答があり、非常に有意義な時間を過ごさせて頂く事ができました。

2015年度もたくさんの会員の皆さまのご参加ありがとうございました。2016年度も、見て・聞いて・体験できる企画を行う予定です。県土会ニュース＆WEBサイトでご案内します。ご期待ください！

（文責：職場見学会班 班長 池嶋孝二）



講義場面



訓練場面

制度対策部・福祉用具関連事業班

福祉用具関連事業班（略して福祉用具班）では県土会会員のみなさまに「福祉用具に関する研修会の開催」「福祉用具に関する情報発信」「福祉用具に関する相談対応」の3本柱を掲げ活動しています。3本柱の1つである研修会について、28年度の予定をいち早くお知らせいたします！例年開催している「PTOT 福祉用具スキルアップ研修会」をリニューアル！

生活環境のアプローチに役立つ内容で「明日から使える環境調整スキル」と題し全5回のシリーズで企画しました（^^）。各シリーズごとの受講が可能です、奮ってご応募ください。

※定員：OT 各10名 ※受講費：県土会会員 2,000円

※募集について：シリーズごと県土会ウェブサイトにて募集

（文責：沼田）

タイトル	日 時	内容（予定）
「住環境編」	6月4日（土）9：30～16：40	・トイレ浴室の環境を整える ・住宅改修 ・環境整備と連携
「シーティング編」	8月6日（土）9：30～16：00	・座クッションを選定する ・車いすシーティング
「移動編」	9月4日（土）9：30～16：30	・車いすの移動 ・屋外アプローチ
「起居・移乗編」	11月27日（日）10：00～16：40	・ポジショニング ・ベッドマットレス ・移乗
「重度障害者の環境調整編」	12月3日（土）9：30～16：40	・チルトリクライニング型車いすの調整 ・摂食嚥下について ・ICTを利用した環境整備

お詫び

3月号ニュースに同封させて頂きました『神奈川県作業療法研究』の記載に誤りがありました。ここに訂正するとともにお詫び申し上げます。

神奈川作業療法研究 第6巻1号

発行者 誤) 渡邊慎一 → 正) 錠内広之

事務局窓口業務 誤) 月火木金 10：00～16：00 → 正) 月火水木金 10：00～15：00

神奈川作業療法研究 編集委員長 白濱勲二

財務部からのお願い



みなさまの職場にも新しい職員が入職されたでしょうか。先輩として、県士会への入会をお勧めしていただく時に是非お口添えいただきたいことがあります。

それは、入会手続きが円滑に進んで一日も早く県士会員になれるように「県士会サイト」の「入会手続き」をよく読んでいただきたいということです。

例年よくある「うっかりミス」

- (1) 入会届を出した後に預金口座振替依頼書を出し忘れている
- (2) 預金口座振替依頼書に押印する印鑑を銀行口座開設印と異なる印鑑で押印する
- (3) OT 協会に入会手続きをすれば自動的に県士会員になると勘違いしている

良き先輩のみなさま、後輩へのご指導よろしくお願い申し上げます。
(文責：財務部 佐藤良枝)



研修会案内

臨床に使えるナラティブセラピー

主 催：健康生活リハビリ研究会
日 時：平成 28 年 6 月 5 日
場 所：茅ヶ崎市勤労市民会館
U R L：<http://ameblo.jp/kenko-seikatu-reha/>

精神科臨床場面で生かせる評価法講座 ～作業療法士のアイデンティティとは～

主 催：神奈川県臨床精神科作業療法研究会
日 時：平成 28 年 6 月 11 日
場 所：ウィリング横浜
mail：igiyomogi@yahoo.co.jp

第 26 回日本作業行動学会学術集会 意味ある作業の探求 ～臨床に活かすコミュニケーション～

主 催：日本作業行動学会
日 時：2016 年 6 月 18 日・19 日
場 所：神奈川県立保健福祉大学
U R L：<https://sites.google.com/site/26thob/>

平成 28 年度テーマ別講習会 「脊髄損傷者に対する排泄支援」

主 催：脊髄損傷作業療法研究会
日 時：平成 28 年 6 月 25・26 日
場 所：神奈川リハビリテーション病院
U R L：sciot1994.wordpress.com

【触診が苦手な方限定】筋の触診セミナー臨床編

主 催：療法士活性化委員会
日 時：全 4 回 平成 28 年 6 月 25 日・11 月 26 日・
12 月 24 日
場 所：ウィリング横浜
U R L：<http://tohwaseminar.jimdo.com/kinrinsyo28/>

【触診が苦手な方限定】骨の触診セミナー臨床編

主 催：療法士活性化委員会
日 時：全 4 回 平成 28 年 6 月 26 日・11 月 27 日・
12 月 23 日
場 所：ウィリング横浜
U R L：<http://tohwaseminar.jimdo.com/kotsurinsyo28/>

第 2 回 IMR 全国研修会 in 横浜

主 催：IMR ネットワーク
日 時：平成 28 年 7 月 17・18 日
場 所：横浜市総合保健医療センター
mail：itdaycare@fukkou-kai.jp

第 44 回日本リハビリテーション工学協会 車いす SIG 講習会 in 高知

主 催：日本リハビリテーション工学協会
車いす SIG
日 時：平成 28 年 8 月 24・25 日
場 所：高知県立ふくし交流プラザ
U R L：<http://www.wheelchair-sig.jp>

求 人 案 内

作業療法士
(有資格)
募集

横浜市立脳卒中・ 神経脊椎センター

募集人員：若干名

待 遇：非常勤職員としての雇用です

給 与：1,864 円/時給

手 当：交通費相当分支給

勤務日数により健康保険・厚生年金・雇用保険・
労災保険あり

勤務時間：8：30～17：15 まで ※頻度・時間等は応相談

休 日：4 週 8 休制

施設概要：300 床（回リハ 101 床）、脳卒中・神経疾患と
脊椎脊髄疾患の専門病院です。

応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、免許証の写
しをご持参ください。※まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭 1-2-1

JR 根岸線根岸駅から市営バス

「脳卒中・神経脊椎センター」行 下車 0 分

市営地下鉄吉野町駅から市営バス「磯子車庫前」

または「滝頭」行「根岸橋」下車 8 分

TEL：045-753-2500（代表）

FAX：045-753-2905

担当：リハビリテーション部 遠藤

Mail：by-no-somu@city.yokohama.jp

HP：http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/

作業療法士
(有資格)
募集

横浜市立脳卒中・ 神経脊椎センター

募集人員：2 名

待 遇：地方公務員法第 3 条第 3 項第 3 号に定める非常
勤の特別職に属する地方公務員

給 与：200,500 円～275,600 円/月給（実務経験年
数による）

手 当：期末手当、通勤手当、超過勤務手当相当額支給
健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険あり

勤務時間：8：30～17：00 まで

休 日：4 週 8 休制、年次休暇、夏季休暇、その他病気休
暇、介護休暇、服忌休暇等（採用月による）

応募方法：嘱託員申込書、横浜市履歴書、エントリーシート、
作業療法士免許の写しを同封し、簡易書留による
郵送でお申し込みください。※様式は当センター
HP をご確認ください。

問い合わせ先

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭 1-2-1

JR 根岸線根岸駅から市営バス

「脳卒中・神経脊椎センター」行 下車 0 分

市営地下鉄吉野町駅から市営バス「磯子車庫前」

または「滝頭」行「根岸橋」下車 8 分

TEL：045-753-2500（代表）

FAX：045-753-2905

担当：リハビリテーション部 遠藤

Mail：by-no-somu@city.yokohama.jp

HP：http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/

作業療法士
募集

むつみの家

車椅子での座りきりからレクが楽しめるようになったり、
下肢筋力をつけて、近くまで散歩が出来るようになる等、
OT ならではの視点を尊重します。

募集人数：1 名（パート）

資 格：作業療法士

勤務内容：デイサービスでのリハビリ

勤務時間：9：00～15：00 午前中のみでも構いません。

休 日：日・その他シフトによる休み・年末年始・夏休み

待 遇：時給 2,500 円

勤 務 地：横浜市内南区睦町 1-8-3

概 要：デイサービス

応募方法：電話またはメールにてお願いいたします。

問い合わせ先

連絡先：045-743-6588

担当：管理課 加藤

Mail：kato@clinic.or.jp

HP：http://www.clinic.or.jp



第2回神奈川県臨床作業療法大会 プログラムのご案内

大会実行委員企画演題担当 株式会社AT指定訪問看護アットリハ
齋藤 梢



こんにちは。暖かな季節になり、8月の臨床作業療法大会開催まであとわずかとなりました。実行委員一同、一段と活気づいて準備を進めております。毎月の運営会議では開催会場となる藤沢市民会館近くで会議を行っており、メンバーにとって徐々に慣れ親しんだ場所となってきました。臨床作業療法大会を通して、藤沢の町が私にとって大切な場所の一つとなりそうな気がしています。

さて、肝心な内容について少しご紹介させて頂きたいと思います。大会のテーマ「作業療法士のしてん～視点・支点・始点」とあるように様々な“してん”から企画された、かなり濃く盛り沢山な内容となっております。

まず特別講演として「脳画像の見方のポイント」を国際医療福祉大学の前田眞治先生(Dr)にご講演いただきます。教育講演としては「認知行動療法の理論と実際」を神奈川県立保健福祉大学の奥原孝幸先生、「活動・参加を見据えた作業療法アプローチについて」を静岡県立静岡がんセンター田尻寿子先生にお話いただけることに決まりました。また、他職種の視点も学びたいという意見から「高次脳機能障害の症例を通して先輩たちからの提言」という企画で横浜市立脳卒中・神経脊髄センターの早川裕子先生(OT)と鶴飼リハビリテーション病院の

森田秋子先生(ST)をお招きし、事例を通して意見交換をするシンポジウムを開催することになりました。他職種の方と一緒に是非参加して頂ければと思っています。さらに、急性期から回復期、生活期まで作業療法士がリレー形式で発表をしていくという面白い企画も準備を進めています。各施設の先生にご協力いただいております。湘南地域の特色が出せる企画となっています。口述発表は15演題と、県内各地よりすでに様々な分野の方から演題登録をいただいております。一般公開講座では「認知症」を取り上げており、認知症と付き合っていくことについて市民の方と一緒に学べる機会を作っています。この一般公開講座は認知症サポーター養成講座として企画しています。

その他、展示や紹介ブースなども設置し、一日楽しんでいただけるような大会にしていきたいと思っています。出来るだけ多くの企画にご参加いただけるように準備、運営してまいります。大会の詳しい情報はホームページ(<http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd>)だけでなくFacebook、LINE等で更新しておりますので、ぜひ一度ワンクリックしてみてください。それでは8月7日、スタッフ用の派手なTシャツを着て藤沢市民会館にてお待ちしております。



『神奈川県作業療法士会ニュース』

ニュース掲載作品

大募集!!

『県士会ニュース』では、県士会ニュースにOTに関わって作られた対象者様の作品を掲載させて頂きたいと思っております。紙面から伝わる温かみを生かして、どしどしご応募いただければ幸いです。

応募方法…メールでご応募下さい。Kouhou-sakuhin@kana-ot.jp

作品の写真と下記を添えてお送りください。

- ①お名前(ふりがな) ②年齢 ③プロフィール ④作品タイトル
 - ⑤作品について作者から一言 ⑥作者の住所 ⑦ご連絡先(Email、電話番号など)
 - ⑧連絡代行様(ご担当OT)のお名前 ⑨連絡代行様(ご担当OT)のご連絡先
- ※6-9の情報は紙面上で公開されません。応募に関してのみ活用させていただきます。



お問い合わせ…上記アドレスまで。随時募集しております！

後編
編集集

今年度から県士会ニュースでは作品募集コーナーを開始しました。紙面から伝わる温かさを生かして対象者様の作品を掲載させて頂きたいと考えています。今年度も県士会ニュースはさまざまなニュースを工夫して伝えていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。(山岡)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース <179号>2016年5月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療学科)

山岡 洸(新戸塚病院) / 桜井 大和(佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号 TEL/FAX: 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

